

ダニエル・ノーマン記念学園軽井沢幼稚園
2025 年度（令和 7 年度）

事業報告書

1. はじめに

2025 年度も軽井沢幼稚園をお支えくださり、ありがとうございました。理事、評議員、監事、地域の皆さまのお支えにより、2025 年度も保育活動を行うことができましたことを深くお礼申し上げます。

2. 職員体制について

2025 年度は以下のような職員配置で保育活動を行いました。

職 種	員数	常勤	非常勤	備考
園長	1	1	—	
副園長	1	1	—	
事務主任	1	1	—	
主幹教諭	1	1	—	
教諭	1	1		
講師		—	—	※随時
保育補助	4	—	4	
事務職員	1	1	—	

理事長 高石久美子(2025 年 4 月 1 日～7 月 21 日)/金森康世(2025 年 7 月 22 日～)

園長 武井さおり **副園長** 竹内道子(年少担当/満 3 歳補助/一時預かり)

事務主任 山下恵子 **主幹教諭** 柳澤柊羽(年中担当) **教諭** 山本紗希花(年長担当)

非常勤教諭 的場加奈子(全体補助) 三浦智美(満 3 歳、一時預かり担当)

安藤美和子(全体補助・延長保育担当)

保育補助 高石久美子 **事務職員** 出口哲徳

2025 年度は 10 人の職員体制で保育を行いました。各学年担当者 1 人+補助という基本形はありますが、軽井沢幼稚園は職員全体で子ども全員を保育するという考え方です。ICT 化された保育記録や毎週の教師会を通じて、全ての子どもの状況を共有しています。深く関わる子どもと担当者との関係性も大切にしながら、一人の子どもに複数の保育者・職員が関わることによって生まれる多様な関係性も、その子どもをよく知る、よく見るために大切にしています。また、今年度は延長保育担当の教師を配置することができ、保育者が保育後に保育の振り返りや保育準備、情報共有をすることができました。

3. 在園児・保育について(2026 年 3 月 11 日現在)

在園児 27 人

学年	クラス名	人数
満3歳児	ひつじ組	4 人
3歳児	はな組	5 人
4歳児	ほし組	10 人
5歳児	つき組	8 人

2025 年度に入園したのは 5 人の子どもたちでした。未満児一時預かりのことり組、満 3 歳児のひつじ組、未就園児親子クラスのこひつじクラスを利用されていた子どもたちが半数以上で、未就園の頃から幼稚園との関わりを持つことによって、安心して幼稚園生活に移行できるというよい効果がありました。

軽井沢幼稚園は多くの時間を異年齢で過ごしています。大きい学年のお友だちが小さな学年のお友だちを助けてくれる姿が自然と生まれます。そのことによって、小さい学年のお友だちは大きくなることを具体的にイメージでき、自分が受けた優しさを、その学年になった時に自分がする側になるという、よいサイクルができています。

また、保護者の方々からのお支えも大きく、ビオトープなどの園外保育や幼稚園バザーなどにご協力いただいています。春の親子遠足、親子プレイデイ、クリスマス会、ありがとうの会なども、自分の子どもだけでなく、全ての園児に温かな眼差しを向けてくださり、その成長を喜んでくださっていることに感謝しています。

今年度は 4 人の短期保育利用、4 人の幼稚園留学の利用がありました。もともと軽井沢幼稚園は年度途中の入園者が多いという特徴がありますので、こどもたちは国内外問わず、新しいお友だちを受け入れ、緊張している相手の心に共感しながら過ごしていました。

今年度は 8 人の子どもたちが卒園します。軽井沢東部小学校、軽井沢中部小学校、軽井沢西部小学校、御代田北小学校に進学します。

4. 子育て支援について

2025 年度もこひつじクラス（未就園児親子クラス）を行いました。こひつじクラスから入園に繋がっている実績もありますし、幼稚園との関わり始めは年々早くなってきているという傾向があります。子育て支援という意味でも、園児募集という意味でも、大切な機会です。また、今年度はことり組（未満児の一時預かり）を充実させることができました。利用登録者は 11 人、年間のべ利用者数は約 220 人、平均して 1 日 2 人の預かりを行いました。保護者の様々なニーズに応えつつ、保育者と保護者が協力し合いながら子育てをするという幼稚園らしさも維持していきたいと考えています。

5. 幼稚園園舎リフォーム工事について

園舎建替えが延期になったことによって、その間耐震補強のためにリフォームを行うことが理事会・評議員会で決定しました。まだ具体的な進展はありませんが、よりよい保育環境のために話し合いを進めています。

6. 財務状況について

2024 年度には、入園料、延長保育料、一時預かり料金の見直しを行いました。保護者の皆様にもご理解いただき、おかげ様で、安定した経営を行うことができました。夏期保育や夏期小学生プログラムでは、職員の尽力によって予想以上の収入がありました。夏期特別手当として、職員に還元することもできました。

7. 長野県現地調査について

9 月 17 日に長野県現地調査がありました。これは幼稚園の保育、運営、経営の監査です。保育内容については、指摘事項なしという嬉しい結果をいただきました。保育者が日々誠実に保育に向き合い、努力を重ねてきたからこそこの評価だと考えています。また運営、経営に関してはいくつかの指摘事項もありましたが、健全な運営、経営ができているとの評価をいただき、子どもたちのためにこの状態を永続できるよう今後も努めていきたいと考えています。

8. 園内研修について

毎年のことながら、今年度も長野県認定こども園・私立幼稚園連盟主催の研修会、キリスト教保育連盟主催の研修会に積極的に参加しました。子どもたちにとっては常勤者も非常勤者も総じて保育者・職員です。ですから、常勤非常勤を問わず、できるだけ研修に参加し、保育に対して等しい理解や学びができるようにしています。自主的にオンデマンドを利用して研修を行っている職員もいます。

今年度の大きなできごとは、静岡英和学院大学の永倉みゆき先生に 2 度来園していただいたことです。一度目の 5 月 9 日は園内研修を行いました。永倉先生はその日の保育の様子を記録し、子どもの行動や心の動きを改めてわたしたちに教えてくださいました。当園の保育を高く評価してくださり、子どもたちの育ちを喜んでくださったことで、職員一同大きな励ましを受けました。そのようなことがあり、ぜひ保護者の皆様とも分かち合いたいということで、9 月 22 日には子育て支援事業として「幼稚園時代に育てたいこと～小学校生活を楽しむために」というタイトルで保護者や子育て中の方々に向けて講演をしていただきました。講演会後には再び園内研修として保育に対するアドバイスをいただきました。今後も全職員が学び続け、保育の質向上に繋がるようにと考えています。